

町中心部に憩いの広場を検討中

問 建設課都市計画係 ☎ 282-11312



町は、国からの交付金を活用した「御船地区都市再生整備計画事業」を進めています。

この事業は、シンボルロード線（現国道445号）443号区間（約900m）の沿道に交流拠点などを整備して、新たなまちづくりを展開するものです。主に▼ふれあい広場▼新恐竜博物館▼子育てふれあい館▼観光交流センター▼街なかギャラリー▼町道改良―を平成26年度までに、順次整備する計画です。

交流拠点の中で最大の事業規模となる「ふれあい広場」は、シンボルロード線と新国道445号の交差点に整備する計画です。敷地面積は約1万4千平方メートルの芝生広場で、事業費は約6億6千万円。

ふれあい広場は、地域で憩いの場としての機能と、本町を訪れる広範囲の観光客をターゲットとした情報発信の役割も担い、新たな交流のに

ぎわいを創出する可能性も秘めています。

ふれあい広場の整備検討は平成21年度から始まり、意見交換会をこれまで3回開催しています。意見交換会では、広場の利用方法、広場全体のレイアウト、広場に導入する施設などを話し合いました。

平成23年度も、ふれあい広場の意見交換会を開催しながら、広場の活用や維持管理の方法などを話し合い、町民の意見を盛りこんでいきます。さらに同時進行で、用地買収、造成工事、基礎工事、建築工事を進めながら、平成26年3月の完成を目指します。

町民の皆さんに親しみを持って利用できる広場づくりを第一に、町民アイデアの詰まった広場の整備を進めていきます。

INTERVIEW



建設課
松岡 秀明 課長

歴史、文化、自然の調和
オリジナル広場の整備へ

町では、シンボルロード線の沿道に、町民や来訪者の交流拠点となる新たなまちづくりを進めるため、都市再生整備計画事業に着手しています。その中でも、大きな役割を果たすものが「ふれあい広場」です。

「ふれあい広場」は、歴史、文化、自然が調和した芝生公園の整備を検討中です。御船の活力と魅力、豊かさを実感できる広場づくりを目指します。

平成23年度も意見交換会を開催して、町民の皆さんと「ふれあい広場」の活用方法などを話し合いながら、御船らしいオリジナル公園の整備を進めていきます。



●都市再生整備計画事業

地域の歴史、文化、自然環境などの特性を生かし、地域主導の個性あふれるまちづくりを支援する国からの交付金事業。地域の創意工夫で、限らないオーダーメイド型のまちづくりが可能となる。町は平成21年度に本計画を作成した。

III 声

Voice

ふれあい広場の意見交換会に参加した人に話を聞いてみました。



な す ひろちか
那須 広周 さん（辺田見）

ふれあい広場は、多くの住民が利用する公園で、利用する人によって目的は違います。意見交換会は、利用者の立場に立って、住民の声を計画へとつなげる場だと考えます。もっと多くの人が参加して、いろんなアイデアを盛り込むことが大切です。住民と行政が一体となれば、全国に誇れるようなまちに発展していける気がします。

ながの えいこ
長野 英子 さん（滝川）

町に念願の公園ができることを喜んでいきます。意見交換会では、芝生公園やグラウンドゴルフ場を望む声がありました。私は子どもやお母さんがくつろげて、いろんな年代の人が交流できる公園を望みます。交流から住民がつながる場所となれたらいいですね。将来は物産館を併設して、町外からの集客につなげる試みはどうでしょうか？



IV 計画

Plan

ふれあい広場の整備計画の進行予定を年度ごとに紹介します。

平成23年度	意見交換会、用地買収、造成工事
平成24年度	造成工事、基礎工事
平成25年度	建築工事

※意見交換会は、町民が事業の計画段階から参加して、グループごとに意見を出し合い、事業に意見を反映させる会議です。

I

ふれあい広場

Public square

シンボルロード線と新国道445号交差点に「ふれあい広場」を整備します。平成25年度の完成を目指しながら、道の駅や物産館と併設した拠点造りも検討していきます。



■期間	平成22～25年度	■場所	御船高校南側
■内容	広場整備14,000平方メートル	■費用	6億5,630万円



II

機能
Function

- ① イベント広場
- ② 多目的広場
- ③ 芝生広場
- ④ シンボル広場
- ⑤ 健康遊具広場
- ⑥ 遊具広場
- ⑦ 親水広場
- ⑧ ジョギング路
- ⑨ 東屋
- ⑩ トイレ
- ⑪ 駐車場